

さとやまさとう み

里山里海湖の 研究・活用プロジェクト

活動場所

- ・位置……………福井県全域
- ・フィールドタイプ……海・川・湖・湿地・森・
田んぼ



福井県の里山里海湖（若狭湾）

活動の目的

福井県は県土の約8割を森林や里地里山里海湖が占めており、古来から自然の恵みを楽しむ人の暮らし、営みがありました。

ここには、農林水産業等の人の自然環境への働きかけがあることにより、多様な自然環境と生物多様性が維持される、「人と自然の共生関係」が成り立っていました。今、失われつつある人と自然との関係をもう一度、再認識し、持続可能な自然環境の利用と次世代への継承を目的に活動をしています。

活動の内容

○コウノトリ

福井県は、日本で最後までコウノトリが生息していた地域。県ではコウノトリの飼育・繁殖・放鳥事業を通じて、地域とともにコウノトリが生息できる豊かな自然環境の再生と、持続可能な自然と共生する地域づくりを進めています。



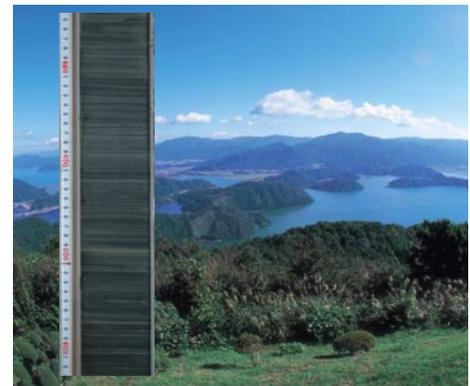
コウノトリ

○水月湖年縞

三方五湖の一つ水月湖の湖底には、7万年分の縞状の堆積物である『年縞』が存在しています。この年縞は、地質学的な年代決定の世界標準に採用され、自然環境の変化と人の歴史との関わりを探る足がかりになるものであり、県や大学が連携して研究や活用に取り組んでいます。

○福井県里山里海湖研究所

福井県の里山里海湖において、生物多様性の保全や人々の豊かな暮らしに役立てるための研究や環境保全を担う次世代リーダーを育成する「研究・教育・実践」拠点として、平成26年10月に三方湖畔に設立されました。



水月湖と水月湖年縞

今後の展望

コウノトリを代表とした多様な生物が当たり前のようにいる里地里山里海湖を目指します。また、次世代リーダーの育成を通じ、美しい風土を残しながら福井という地域のみんが元気になることを目指します。

一言コメント

福井県では、自然環境保全再生の拠点として、福井県里山里海湖研究所、福井県自然保護センター、福井県海浜自然センターを設置しており、県内では160を超えるNPOが県と市町と各地域で自然再生活動を進めています。多くの方々をつながりながら一緒に豊かな自然を育み次世代へつなげましょう。

実施体制

構成員：福井県自然環境課（自然公園管理グループ、自然環境保全グループ、年縞研究活用グループ、里山里海湖研究所）
福井県自然保護センター、福井県海浜自然センター

事務局：福井県安全環境部自然環境課

連絡先：〒910-8580 福井県福井市大手三丁目17番1号
TEL 0776-20-0306
E-mail shizen@pref.fukui.lg.jp